

## 先進自治体への視察

### 1 三重県 名張市

#### (1) これまでの経緯

平成 15 年（2003 年）「ゆめづくり地域交付金の交付に関する条例」制定

用途自由な一括交付金の交付（各種補助金を交付金として一本化）

平成 17 年（2005 年）「自治基本条例」制定

平成 21 年（2009 年）「地域づくり組織条例」制定

平成 24 年（2012 年）地域ビジョンの策定完了（全地域）

15 地域が個性ある将来のまちづくりのための基本方針、将来像、それに基づく実施計画を策定

平成 28 年（2016 年）市民センター化の実施

地域づくり組織に指定管理委託していた公民館を市民センター化し、地域づくり活動、生涯学習活動、地域福祉活動の拠点としてスタート

#### (2) 特徴

ア 平成 14 年（2002 年）新市長が就任し、財政健全化と平成大合併への対応が 2 大政策テーマとなり、地域づくりについては各種補助金を 1 本化して一括交付金とする「地域予算制度」から始まった。

イ 地域づくり組織が市民センターの指定管理者となり運営を行いながら、地域づくり組織の拠点場所としている。

#### (3) 課題

ア 少子高齢化による担い手不足

イ 地域の成熟度の格差

ウ 地域での資金確保

エ 多様な主体との協働

## 2 三重県 鈴鹿市

### (1) これまでの経緯

平成 10 年（1998 年）補助金交付による地域支援を実施

平成 24 年（2012 年）「まちづくり基本条例」制定

平成 31 年（2019 年）「地域づくり協議会条例」制定

令和 2 年（2020 年）市内全域に「地域づくり協議会」設立

「地域づくり一括交付金交付規則」制定し、各地域へ交付開始

### (2) 特徴

ア 地域の方を対象に、地域づくり協議会を民主的に運営していくためのポイントや交付金の適切な運用を図るための手続き等をまとめた「すずかの地域づくり 虎の巻」を作成。

イ 地域づくり協議会の拠点場所として使用できる「地域部屋」が市民センターや公民館にある。

### (3) 課題

ア 地域の成熟度の格差

イ 多様な主体との協働

イ 持続可能な協議会活動に向けた支援

ウ 協議会同士の情報共有、協議の支援